

【事務事業調査】

事務事業名	敬老会事業費	予算科目コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 001 - 030103 - 003 - 04 - 04 - 0
担当部課	健康福祉課	担当 サブリーダー	社会福祉担当 吉葉恵子
		事業の分類	既存事業

事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	75歳以上の高齢者を対象に、地域で実施する「敬老のつどい」事業に助成し、地域住民が地域の高齢者の長寿を祝う。町からは、対象者全員に対し敬老記念品を贈呈する。 81歳、91歳の節目の年齢の方及び100歳以上の方に、誕生日の翌々月に敬老祝金を贈呈する。 また、95歳以上の方には自宅に訪問し、敬老祝詞と共に記念品を贈呈する。	高齢者の長寿を祝い、明るく豊かな長寿社会を目指す契機となる。 高齢者の生きがいづくりにつながるとともに、地域においてそれぞれの実状に応じた敬老のつどいが実施されることで、高齢者にとっては身近な仲間との顔の見えるひとときを過ごすことができ、孤立防止にもつながり、また地域で高齢者を囲んでの行事をもつことで地域の交流が深まり、各年代それぞれが地域の一員であることの認識を新たにすきっかけづくりになる。
実績		

活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
敬老のつどい参加高齢者数 75歳以上の高齢者3,324人の35%	1,163人		H20年度の実績 実施行政区 51 該当高齢者数 3,208人 内、出席者数 1,079人(33.6%) H19年度敬老会出席者率：7.0%

事業費(計画)

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 報償品	2,439,400	敬老者記念品(75歳以上) @600 × 3,324 = 1,994,400 " (95歳以上) @3,000 × 83 = 249,000 " (88歳) @2,000 × 98 = 196,000
2 消耗品費	20,000	宛名ラベル等
3 通信運搬費	813,320	敬老のつどい開催通知 @100 × 3,324 = 332,400 敬老祝金お知らせ通知 @80 × 305 = 24,400 " 返信用切手 @80 × 305 = 24,400 敬老記念品通知 @80 × 3,324 = 265,920 " 返信用はがき @50 × 3,324 = 166,200
4 交付金	3,324,000	行政区への交付金 @1,000 × 3,324 = 3,324,000
6 扶助費	4,380,000	敬老祝金 81歳 @10,000 × 236 = 2,360,000 " 91歳 @20,000 × 61 = 1,220,000 " 100歳 @100,000 × 8 = 800,000
7		
8		
9		
10		
	10,976,720	

事業費(実績)

細 節	金 額	特 記 事 項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	0	

事業経費

		計 画	実 績	特 記 事 項
予 算	当初予算額	10,976,720		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	10,976,720		